

- 令和3年第4回臨時会・令和4年第1回定例会議案の概要と審議結果 …… 2面
- 区政のここを問う！  
定例会での代表・一般質問 …… 3～5面
- 予算特別委員会を特集 …… 6、7面
- 委員会の動き …… 8面
- 請願・陳情の審議結果 …… 8面

# 新宿区議会だより

発行：新宿区議会 ☎ 03(3209)1111(代表)  
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号  
ホームページアドレス <http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>



No. 302

令和4年(2022年)4月25日発行



3月15日 新宿区成立75周年記念式典(新宿文化センター)



3月2日～14日・16日・29日 予算特別委員会



新宿区サッカー協会代表チーム「クリアソン新宿」Jリーグ参入に王手 ©2021 Criacao

## トップニュース

### 令和3年第4回臨時会で可決した 議案

#### 区長提出議案1件を可決

- 令和3年度一般会計補正予算(第13号) 101億5,183万7千円
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中、住民税非課税世帯等の生活支援として臨時特別給付金を支給することに要する経費 80億676万9千円
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活支援として臨時特別給付金を支給することに要する経費 14億4,499万5千円
  - ・ 新型コロナウイルス感染症対策の予防接種の増額に要する経費 6億9,779万3千円 など
- 関連記事 2面

### 令和4年度予算を 可決

#### 令和4年度予算 総額2,387億9,020万9千円を可決

令和4年度予算案は、基本方針を「新型コロナウイルス感染症が及ぼす社会経済情勢の動向に柔軟に対応し、感染症収束後も視野に入れ、安全で安心な区民生活を支えるとともに第二次実行計画の着実な推進を目指す予算」として編成され、区長より提案されました。さらに追加議案として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により収入が減少した生活困窮者への支援等に対応するための補正予算が提案されました。

委員17名からなる予算特別委員会で、令和4年度各会計の予算案を審査し、3月29日の本会議にて原案通り可決しました。  
関連記事 2、6、7面

### 第1回定例会で可決した主な 議案

#### 区長提出議案32件を可決

- がん検診の利用の促進を図るため、子宮頸がん及び乳がん検診対象者の一部の検診費用を無料とする特例措置を令和5年3月31日まで継続する。 (令和4年4月1日施行)
  - 子どもの育ちを支援する区民等の自主的な活動を推進する観点から、支援を行うことができるようにする必要があるため「新宿区子ども未来基金条例」の一部を改正する。 (令和4年4月1日施行)
- 関連記事 2面

#### ロシア連邦大統領あて抗議文を送りました

新宿区議会議長と新宿区長は、ロシアによるウクライナ侵攻を受け、令和4年3月1日付けでロシア連邦大統領あて抗議文を送りました。

議案の概要と審議結果 (賛成…○、反対…×)

会派略称 自 民=自由民主党新宿区議会議員団 公 明=新宿区議会公明党
共 産=日本共産党新宿区議会議員団 民無ク=立憲民主党・無所属クラブ
新宿会=新宿未来の会 社 民=社民党新宿区議会議員団
スタ新=スタートアップ新宿 ちい声=ちいさき声をすくいあげる会

○令和3年第4回臨時会(12月28日)

Table with 11 columns: 議案名, 概要, 自民, 公明, 共産, 民無ク, 新宿会, 社民, スタ新, ちい声, 議決結果. Row 1: 令和3年度新宿区一般会計補正予算(第13号)

○令和4年第1回定例会(2月22日~3月29日)

Table with 11 columns: 議案名, 概要, 自民, 公明, 共産, 民無ク, 新宿会, 社民, スタ新, ちい声, 議決結果. Multiple rows for various budget and ordinance amendments.

オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会を廃止し、新たに文化観光産業特別委員会を設置しました

新宿区議会は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」という。)が、区民のスポーツへの親しみや、多様な価値観への理解を深めるとともに、新国立競技場の地元自治体として、新宿の魅力発信し、地域の活性化を図る絶好の機会ととらえ、オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会を設置し、「東京オリンピック・パラリンピックについて」「文化及び観光の振興について」「産業振興について」、区の大会開催に向けた気運醸成の取組みや事業の進捗状況等を調査してまいりました。

東京2020大会が終了し、区の活動報告を受けたことにより、東京オリンピック・パラリンピックについては調査が終了したため、オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会を廃止しました。

新たに設置する「文化観光産業特別委員会」では、「文化及び観光の振興について」「産業振興について」「消費生活について」を調査事項とし、東京2020大会のレガシーを引き継ぎ、更なる新宿の魅力の創出・向上に区とともに取り組んでまいります。

【文化観光産業特別委員会委員(11名)】

- 委員長 鈴木ひろみ(新宿会) 北島としあき(公明) 理事 中村しんいち(公明)
副委員長 おぐら利彦(自民) 渡辺みちたか(自民) 池田だいすけ(自民)
木もとひろゆき(公明) 理事 志田雄一郎(民無ク) 理事 雨宮武彦(共産)
藤原たけき(共産) あざみ民栄(共産)

# 区政のこころを問う

## 高校3年生までを対象とした医療費無償化の実施を

新宿区議会公明党

代多 學 問



木もとひろゆき

**質問** 令和4年1月に、都は中学3年生までとしている医療費助成の対象を高校3年生まで拡充する方針を発表した。この高校3年生までの医療費無償化は、進学などで教育費がかさむ子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和3年の東京都議会議員選挙で都議会公明党が公約に掲げ、繰り返し都に要望してきた。我が会派は区長に対して、令和4年1月28日、都と連携して区においても、令和5年度から高校3年生までの医療費無償化を実施することを緊急要望した。あわせて、都の所得制限で対象外になる世帯にも、区独自で助成することを求めた。

「高校3年生までの医療費無償化」は、子どもを育む機会の拡充として、他の教育施策とも関連付け、区の特徴として位置付けられる。区は、都の動向を注視しながら、高校3年生までの医療費無償化を所得制限を設けずに令和5年度から実施すべきと考えるが、ご所見は。

**答弁** 都が、令和4年度予算に子育て支援の充実のため、高校生相当年齢への医療費助成制度の開始に向けた、区市町村等の準備経費を補助するための費



高校3年生までの医療費無償化を

用を計上したことは承知している。現時点では、都から事業の詳細な情報提供はないが、今後、区は、この事業の実施に向け、所得制限の有無も含め、乳幼児から高校生相当年齢までの一貫した制度構築及び運用について、都と協議が必要と考える。

## 65歳以上の方への新型コロナワクチン3回目接種の加速を

**質問** 重症化リスクが高い高齢者等への3回目のワクチン接種を加速させることが大切である。65歳以上の方へ送付された接種券に記載された予約項目について、前倒しで予約の変更が可能になる情報が、一部の対象者に伝わっていない。命に関わる大切な情報を分かりやすく確実に伝える工夫が必要である。今後、65歳以上の方へのワクチンに関する広報のあり方として、3回目接種が区から割り当てられた日程のまま前倒し

をしていない方に対して、電話での接種促進や「ぬくもりだより」のように簡潔で分かりやすいチラシの配布を行うなど、積極的な情報伝達が必要と考えるが、ご所見は。

**答弁** 前倒して接種できることを知らない等の理由により、区が割り当てた予約日を変更していない高齢者が一定数いると認識している。今後、区が接種日程を割り当てた方のうち、3月に前倒して接種を受けることができる方には、区新型コロナワクチン接種コールセンターから電話して予約日の変更手続きを順次進めていく。また、地域交流館等の高齢者活動・交流施設や高齢者総合相談センター等への情報提供とともに、ぬくもりだよりに前倒し接種や予約変更の手続き等について掲載して配布するなど、積極的に周知し、高齢者のワクチン接種の加速を図っていく。

**質問** 地域商業活性化推進事業のプレミアム付商品券については、我が会派として特に力を入れ、区に実施を求めてきた事業である。商店や多くの区民からも大きな反響があった。そのため、新型コロナウィルス感染症の影響を受ける区内事業者の支援や個人消費を下支えするために、再実施を令和4年1月6日に区長に対して要望した。そこで、①令和3年度事業の実績と②令和4年度はどのように事業を進めていくのか、区のご所見は。

## プレミアム付商品券の更なる充実を

**質問** ①令和3年度実績は、発行冊数58,000冊に対し、第1次募集、第2次募集併せて延べ約76,000名の応募があった。応募者多数のため抽選を行い、当選された方の94%の方が商品券を購入し、販売総額は約6億8,000万円となった。また、取扱店舗は約1,800店で、令和4年1月末で販売総額の78%の約5億3,000万円が店舗で使用されている。大変多くの方に利用され、取扱店舗からも好評をいただいている。②令和4年度は、発行冊数を令和3年度の58,000冊から10万冊に増刷する。また、新宿区商店会連合会をはじめ、区内各商店会と連携し、参加店舗の募集を進めていく。加えて、区民の方がより利用しやすく、個人消費の下支えにも繋がるよう、応募方法や販売期間など工夫を凝らして事業を進めていく。

## 区の財政力を活かし独自の給付金など区民生活の支援を

日本共産党新宿区議会議員 代多 學 問



沢田 あゆみ

**質問** ①臨時特別給付金は、非課税世帯や家計急変世帯は対象になる一方、非正規雇用など課税でも生活が苦しい世帯や、世帯年収が同じでも対象となる世

帯とならない世帯がある。足立区は国の対象から漏れる所得200万円以下世帯に区独自の臨時給付金を支給。新宿区も実施すべき。②国保料の大幅値上げが予定されている。国は未就学児の均等割を半額にするが、国に全ての子どもの均等割ゼロを求め、少なくとも区として全ての子ども均等割を半額にすべき。均等割保険料額は据え置くべき。

**答弁** ①区独自の給付金実施の予定はない。②均等割軽減の対象年齢や軽減割合の拡大は国に要望している。区独自の軽減の考えはない。均等割保険料額を区独自に据え置く考えはない。



生活困窮者へ区独自の給付金を

## 学校・施設等の個室トイレに生理用品の設置を

**質問** 「生理の貧困」が社会問題化した区は生理用品の窓口配付を実施した。今後はジェンダー平等の観点から取り組むことが求められる。都は都立学校のトイレに生理用品を設置し、23区では11区が小学校、12区が中学校のトイレに設置。新宿区も保健室だけでなく区立小中学校の個室トイレに生理用品を設置すべき。本庁舎・特別出張所、学

**答弁** 事業者の開発計画では、移植が困難な樹木等は伐採するが、新植等により、従前より樹木数は増加する計画である。今後可能な限りの既存樹木の保全、新植による緑量の確保等の検討を都や事業者へ働きかける。

## 新型コロナウイルスの情報 区民への周知について

立憲民主党・無所属クラブ 代多 學 問



久保 こうすけ

**質問** 国の示す新型コロナウイルスへの対応がたびたび変わる

童クラブ・児童館など区施設の個室トイレにも設置すべき。**答弁** 区立小中学校では生理用品を保健室に配備し、必要とする児童・生徒へ適宜配布。個室トイレへ配備は考えていない。区施設では、施設の特성에応じた検討が必要であり、現時点で設置は考えていない。

## 千本の樹木を伐採・移植する 神宮外苑の都市計画について

**質問** 神宮外苑地区の都市計画について、新宿区都市計画審議会では学識委員や公募区民委員からも疑問や反対意見が出て、日本イコモスが都に提出した意見書でも厳しく批判している。神宮外苑地区に現在1,904本ある樹木のうち、892本を伐採、うち風致地区内が763本、164本は移植、保存は848本であることが明らかになった。事業者の都合を優先し、歴史的価値の高い緑と景観が破壊されようとしている。神宮外苑の樹木を守るため、区は都や事業者に働きかけるべき。

ため、混乱する区民もいると思ふ。区民に重要な情報を事前に周知し、自分が感染した時などに落ち着いて行動できるようにする必要がある。区長の所見は。

**答弁** 区HPへの掲載や医療機関でのチラシ配布など引き続き情報発信の一層の充実に努める。プラスチックごみ収集について

**質問** プラスチック資源循環促進法が成立し、令和4年4月から更なるプラスチックごみ削減が求められる。最初に分別を担う区民への周知と協力についてどう考えるのか。

**答弁** プラスチックの資源循環の促進には区民の理解・協力が不可欠。今後「資源・ごみ分別アップ



無理なく継続できるプラスチックごみの分別方法を

新たなテクノロジーの活用と人材育成について

新宿未来の会

代表質問

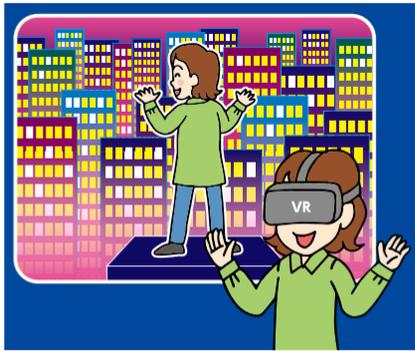


えのき 秀隆

**質問** ①バーチャル渋谷のデジタル都市構想など他自治体でのメタバースの取組みについて、区においても、参考に行動すべき。区の考えは。②これからの時代は、ICTを効率的実践的に活用できる人材、情報戦略を立案・実行・評価できる人材の育成、情報化推進体制の強化が求められる。現状の課題にどのように向き合うのか。区のご見解は。

様々な課題があり、現段階では具体的な取組みの予定はないが、今後も他自治体の取組みを注視していく。②他自治体とも積極的に連携し、引き続きデジタル人材の育成に努め、区の情報化施策の推進に向け取り組んでいく。

**答弁** ①行政分野でのメタバースの活用にあたっては、デジタル空間の運用の際の法令整備など



仮想空間の積極的な活用を

学び直しに広がる場づくりや

機会の支援について

自由民主党新宿区議会議員団

代表質問



渡辺 清人

**質問** コロナ禍の新たな日常・新しい生活様式の中で、また、デジタル社会や人生100年時代に

あって、時代は変革の時にあり、仕事においては新たなスキルの獲得、家庭にあっては自らの生活の充実が模索され、リスキリングやリカレント教育といわれる学び直しが求められている。区としても、人生100年時代の学び直しに広がる場づくりや機会の支援の手を差し伸べていくことが必要と思うがいかがか。

**答弁** 従来型の生涯学習だけでなく、リスキリングやリカレント教育機会の提供は、重要と認識している。新宿未来創造財団と連携し、様々なツールを活用した学びの場を提供するとともに、AIや情報分析、プログラミングなど、デジタルリテラシーに関する講座についても、ニーズを捉えて実施を検討していく。

令和4年度予算について

**質問** 区における令和4年度予算編成の基本方針は、「新型コロナウイルス感染症が及ぼす社会経済情勢の動向に柔軟に対応し、感染症収束後も視野に入れ、安全で安心な区民生活を支えるとともに第二次実行計画の着実な推進を目指す予算」である。予算編成にあたっては、コロナ後をも見据えた取組みが欠かせないが、どのように考え、取り組んできたか。

**答弁** コロナ禍を機とする生活様式や働き方の変化、昨今の環境問題への意識の高まりなどの地域社会の変革を踏まえるとともに、感染症収束後も見据え、コロナ禍における事業の優先度を的確に見極めた効果的な財源

配分、行政評価や直近の状況分析に基づく事務事業の見直し等を通じた効果的・効率的な事業構築を基本として取り組んだ。

コロナ禍における高齢者の心身の健康状態の把握と対応

**質問** 高齢者が、外出を控え、自宅に引きこもる結果、運動不足になり、人との関わりが減って、フレイルに陥るリスクが高まっている。フレイルの予防には、運動による身体活動量の増加、タンパク質を中心とした適切な栄養の摂取、人との交流などによる社会とのつながりの確保が大切。区では、コロナ禍における高齢者の心身の健康状態について、どのように把握し、対処しているか。

**答弁** 高齢者の心身の健康状態について、高齢者総合相談センターの相談や健康診査時のフレイル予防の質問票等を通して把握。フレイル予防に向けては、運動・栄養・社会参加に複合的に取り組むことの意義などを啓発するとともに、高齢者がフレイル予防を実践できるように、新しいいきいき体操ができる会や、しんじゆく100トレに取り組むグループなど住民主体の活動の場においても支援を行っている。



フレイル予防には運動・栄養・社会参加が重要

一般質問

社民党新宿区議会議員団



かわの 達男

神宮外苑の樹木伐採は中止を

**質問** ユネスコの諮問機関イコモスからも樹木伐採計画の見直しを求める意見書が提出されている。①区の都市計画審議会から多くの意見が付された答申について区長の見解は。②伐採計画

画の根本的見直しを都や関係機関に強く働きかけるべき。③絵画館前広場は市民共有の広場・コモンのようにすべき。  
**答弁** ①計画の検討をより深める必要があると認識。②既存樹木の保全、新植による一層の緑量確保など働きかける。③気軽に利用でき防災性向上に資する広場となるよう働きかける。

スタートアップ新宿



伊藤 陽平

エビデンスに基づく政策策定を

**質問** 予算編成をする上で、計画と達成すべき成果を定めることが求められる。予算策定にあたり新宿自治創造研究所のEBPM<sup>\*</sup>に関する研究は活用されているか。予算成立後に研究を活かして指

標の見直しを行う考えはあるか。  
**答弁** 新宿自治創造研究所では、令和3年度と令和4年度を研究期間として、証拠や根拠に基づく政策立案であるEBPMの推進に関する研究に取り組んでおり、現段階では予算策定に研究成果を活用していない。計画事業の指標は今後研究成果を実装化していく中で見直しを検討していく。

ちいさき声をすくいあげる会



よだ かれん

HPVワクチンの積極的勧奨時の

情報提供について

**質問** HPVワクチン接種者には、いまなお重篤な症状に苦しむ人がおり、再発防止等を求める訴訟も起きている。積極的勧奨の再開にあたり、副反応被害に苦

しむ子どもを出さないためにも、接種を勧奨する区の責務として、家庭で接種のメリットやリスクを話し合ったうえで接種について選択できる環境整備を。  
**答弁** 予診票の一齐送付時に同封するお知らせや国のリーフレットにより接種の効果とリスクを案内。窓口や電話での問い合わせにも丁寧に説明していく。

\* [EBPM] 証拠に基づく政策立案

新宿区議会公明党



野もとあきとし

住宅施策の更なる支援充実を

質問 ①区内の民間賃貸住宅は、高齢者向けの住宅であつても、家賃が高いため入居が難しい場合が多数ある。高齢者等の入居促進の取組みは。②区立住宅の

募集は毎回の記入が負担。募集サイトによる申込を検討しては。
答弁 ①高齢者が希望する低廉な家賃の住宅確保は入居促進に欠かせない。居住支援協議会で協議する。②利便性の観点から、現在の紙の申込に加え、インターネットの申込が可能な入居者募集サイトの立ち上げを検討。

日本共産党新宿区議会議員団



近藤 なつ子

都立・公社病院の独立行政法人化の中止を

質問 ①都立・公社病院の独立行政法人化について区の認識は。②都から区に大久保病院のあり方の意見聴取等があったのか。

③区は都立・公社14病院の独立行政法人化の中止を表明すべき。
答弁 ①地域医療に一層貢献されること認識。②都や大久保病院から「果たす役割が変わりはない。機動力、柔軟性が高まると期待」との説明があった。③都知事や都議会に対し、中止すべきと表明する考えはない。

立憲民主党・無所属クラブ



田中 ゆきえ

ひきこもり対策推進事業に

質問 国は区市町村に「引きこもりサポート事業」に対する補助金を用意していますがあまり活用されていません。都もひき

こもり問題を継続的に支援する体制整備を促しています。区は、国や都の補助金を活用して総合支援事業に着手するべきと考えますがいかがですか。
答弁 今後、どのような事業に補助金を活用できるのか、国や都の動向、他自治体の事例について注視していきます。

新宿未来の会



のづ ケン

更なる地域商業活性化策を

質問 地域経済への支援策として、新宿応援セールやプレミアム付商品券を実施し、区民から好評である。①今後に向けての改善策は。②キャッシュレス決

済によるポイント還元事業も実施しているが、今後の展望は。
答弁 ①区内商店の更なる支援に繋げる。また、新宿区商店会連合会をはじめ区内各商店会と連携し参加店舗の募集を進める。②キャッシュレス決済の普及は更に進む。事業実施により、区内消費の活性化を図っていく。

自由民主党新宿区議会議員団



佐原 たけし

自衛官募集事務に関する

質問 住民基本台帳法に、国または地方公共団体は、必要な場合、当該市町村が備える住民基本台帳の一部の写しの閲覧を請

求できる旨の記載がある。自衛官募集に関する情報提供について、住民基本台帳からの抽出情報のデータ、または紙ベースでの提供を要望するが、いかがか。
答弁 先行自治体の具体的取組み状況も確認しつつ、抽出した情報の閲覧対応に向けた準備を進めていく。

日本共産党新宿区議会議員団



あざみ 民栄

CO2削減のために生ごみの減量・堆肥化の取組み推進を

質問 ①民間処理事業者と連携し、一般家庭の生ごみの資源回収を検討すべき。当面は一定量が回収できるファミリー向け集

合住宅の管理組合等に呼びかけを。②生ごみ処理機・コンポストの購入費助成や定価より割安で購入できるあっせんの実施を。
答弁 ①一般家庭の生ごみの資源回収、管理組合等への呼びかけは考えていない。②過去に実施した際に利用実績が少なく終了した。再実施の考えはない。

立憲民主党・無所属クラブ



志田 雄一郎

緑豊かな都市環境について

質問 東京都都市計画審議会では892本の樹木伐採を伴う神宮外苑地区再開発計画案が承認された。①区はこの計画にどう対応する

豊かな都市環境を作るためにとのような考えを持っているのか。
答弁 ①既存樹木の保全、新植による一層の緑の量の確保などを働きかける。②新宿区都市マスタープランの方針に基づき、樹木の保存、移植等による保護や新たな緑化による創出でみどり豊かな都市環境を誘導。

新宿未来の会



鈴木 ひろみ

ICTを活用した教育の更なる充実

質問 各学校でのオンライン学習の進捗状況等の差が明らかとなった。①現状、各校のICT活用の進捗のばらつきやその程度をどのよう

況を踏まえ、ICT支援員の巡回の頻度など柔軟な支援を行うべき。
答弁 ①多くの学校で、児童・生徒の実態や学校の状況に合わせ、様々な形でオンラインによる指導を実施と認識。②巡回回数等を拡充し、学校からの要望に応じて派遣を行うことで、ICT活用の底上げを図っていく。

自由民主党新宿区議会議員団



下村 治生

新大久保周辺の帰宅困難者対策

質問 ①西大久保公園に避難場所案内板を設置しては。②発災時、西大久保公園管理員や大久保通りの交通誘導員に避難場所への案内をお願いしては。③つ

つじ通り、おおくぼそよかせ橋、文化通りに、避難場所への案内板を設置する考えは。
答弁 ①地元町会や商店街と協議する。②令和4年度の公園管理や交通誘導の事業者と協議する。③地元町会や商店街の方々と、誘導サイン等の設置も含めた帰宅困難者対策を協議する。

自由民主党新宿区議会議員団



渡辺 みちたか

新宿の地域柄を踏まえたプラスチック排出の削減を

質問 プラスチック資源循環促進法が令和4年4月に施行される。転出入が多く、また、外国人世帯が多いなどの地域特性を

踏まえた上で、区はプラスチックごみ削減を達成すべきと考え、区の今後の対応は。
答弁 令和4年度末に一般廃棄物処理基本計画を改定予定。その際、区民にとって分かりやすく、実践しやすい分別方法などを検討し、計画に反映し、プラスチックごみの削減を進める。

自由民主党新宿区議会議員団



永原 たかやす

区内私立幼稚園に対する支援を

質問 保育園の待機児童問題は解消されつつある一方、長年、地域の幼児教育を支えてきた私立幼稚園の経営は今後苦境に立たされることが予想される。地

域の幼児教育を衰退させないためにどのような支援を行うか。
答弁 私立幼稚園入園料への補助を独自に行うなど、誰もが幼稚園に就園できる環境を整備。また、幼児教育推進助成により、各園の実情に合わせた取組みを支援。今後も私立幼稚園と連携し、幼児教育の充実に取り組む。

**新宿区議会 ホームページもご覧ください**

パソコンやスマートフォンなどを使い、区議会のインターネット中継(生中継・録画)、会議録の検索のほか、議会の予定や議員名簿、請願・陳情、意見書全文などをご覧いただくことができます。

▲インターネット中継(生中継・録画中継)

# 各会派の意見

## 予算特別委員会概要

令和4年度一般会計及び特別会計の予算案の審査を行うため、委員17名で構成する「予算特別委員会」を設置しました。

「予算特別委員会」では、3月2日から3月14日・16日までの10日間にわたり、予算案に対し区長の区政に対する基本方針をはじめ、行財政全般について審査しました。3月16日には、各派の賛成・反対の討論を行い、採決の結果、4会計とも賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

なお、この委員会決定について、当初予算は5名の委員から、補正予算は4名の委員から、少数意見を留保する旨の申し出がありました。

また、2名の委員から一般会計予算の修正案が提出されましたが賛成少数で否決されました。

さらに3月29日に日程を追加し、一般会計の補正予算案を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。



▲委員の起立による予算案の採決

## 予算特別委員会委員 (17名)

※令和4年3月29日現在

委員長	久保 こうすけ (民無)
副委員長	木もと ひろゆき (公明)
副委員長	永原 たかやす (自民)
理事	小野 裕次郎 (民無)
理事	藤原 たけき (共産)
理事	鈴木 ひろみ (新選)
理事	時光 じゅん子 (公明)
理事	三沢 ひで子 (公明)
理事	井下 栄一 (公明)
理事	渡辺 清人 (自民)
理事	大門 さちえ (自民)
理事	渡辺 みちたか (自民)
理事	よだ かれん (自民)
理事	川村 のりあき (共産)
理事	伊藤 陽平 (又々新)
理事	おぐら 利彦 (自民)
理事	雨宮 武彦 (共産)

## 新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、区民の命と健康、生活を守る予算として評価

自由民主党新宿区議会議員団

令和4年度一般会計予算及び3特別会計予算、並びに一般会計補正予算(第1号・第2号)及び国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について、いずれも原案のとおり賛成しました。

4年度の新規・拡充事業には、現在の区政における最優先課題の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、医療機関、薬局、訪問サービス事業者等との連携のもと、早期診療や円滑な入院調整・自宅療養の支援、その後の社会復帰に向けた対応などを一貫して行っています。また、区内産業・地

域経済の回復に向けた対応としては、プレミアム付商品券を発行する「地域商業活性化推進事業」を行うほか、児童数の増加等に対応するため、四谷小学校校舎の増築などの経費が計上されています。

そのほか、区民の皆様がいきいきと暮らし続けられるまちづくりや、災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくりと暮らしやすい安全で安心なまちの実現、多様性に富んだ新宿区の都市機能や都市環境を活かしたまちづくりなどに、予算が重点的に配分されています。

一般会計補正予算(第1号)には、感染症予防関係法令に基づくまん延防止対策及び健康診断等(麻しん・風しん抗体検査)と予防接種(麻しん・風しん、子宮頸がん)の費用が計上されています。

今後も、持続可能な行財政運営のため、事務事業の見直しと経費削減、一層の歳入確保を望みます。

## 新型コロナウイルス感染症対策や収束後を見据えて区民生活を支える施策の取組みを評価

新宿区議会 公明党

令和4年度一般会計及び一般会計補正予算は、基本方針に示されているように、「新型コロナウイルス感染症が及ぼす社会経済情勢の動向に柔軟に対応し、感染症収束後も視野に入れ、安全で安心な区民生活を支える」ともに第二次実行計画の着実な推進を目指す「算」と位置づけて編成されています。

また、コロナ禍における事業の優先度を的確に見極めながら、効果的な財源配分を行うとともに、デジタル技術等を活用した事業転換等を通じて、効果的・効率的な

事業構築を図ることとしており、評価致します。

我が会派は、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、高齢者・障害者支援の推進、子育て支援策の充実、教育振興に関する施策の推進、地震や水害対策の強化、中小企業支援策の強化等、令和4年度の予算要望を行いました。

これらの公明党の意見・要望を令和4年度の施策に反映され、また感染症対策の着実な推進と収束後を視野に入れた予算配分をされていることから、予算に賛成しました。

今後とも、感染症から区民生活と命を守り、安心して暮らせるように取り組み、更にコロナ禍で打撃を受けている事業者を守るため、切れ目ない支援策を着実に実施される事を強く要望します。

## 基金積立金は594億円 堅調な財政を生かし、コロナ禍と原油高からくらし営業を守る予算に

日本共産党新宿区議会議員団

日本共産党区議団は、2022年度一般会計予算と3特別会計予算、国民健康保険料の値上げに関連する2補正予算について反対し、一般会計予算にコロナ禍の影響を受けた区民生活を支える観点から修正案を提案しました。

私たちは予算編成に向け、個人・団体の皆様との懇談や、区政アンケートで寄せられた2088件の意見要望などを参考に、483項目の「予算要望書」を区長に提出してきました。

予算原案には、障害者スポーツ施設利用料の無料化、国民健康保険料の未就学児の均等割半額など、区民要望が実現したものもありました。一方、私たちは修正案で学校・区有施設への生理用品の配置、国民健康保険子ども均等割保険料の半額助成を18歳まで拡大、がん検診の無料化、中小企業者への家賃助成、障害者施設整備検討委員会の設置など、必要性の高い項目に絞って提案をしましたが、区の財政力から十分に実現可能で実現されませんでした。

13回にわたり区長と教育委員会に申し入れを行ってきた新型コロナウイルス対策について、検査体制と保健所体制強化を改めて求めましたが、全く不十分であり、神宮外苑の892本の樹木伐採計画について、事業者の利益優先の計画を容認する区の姿勢は問題です。

私たちは、コロナ禍と物価高に苦しむ区民を支える区政実現のため全力で取り組み決意です。

令和4年 第2回定例会のお知らせ

★6月9日から6月20日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

**本会議** 6月9日(木) 午前10時から(代表質問等)  
6月10日(金) 午前10時から(代表質問・一般質問、議案の提案説明等)  
6月20日(月) 午後2時から(議案の採決、意見書・決議の採決等)

**常任委員会** 6月13日(月)・14日(火) 午前10時から

**特別委員会** 6月15日(水) 午前10時から(防災等安全対策、自治・議会・行財政改革等)  
6月16日(木) 午前10時から(文化観光産業)

★手話通訳者または要約筆記者を配置できます。事前に議会事務局(TEL:03-5273-3534、FAX:03-3209-9995)までご連絡ください。

★新宿区議会では、節電の徹底のためクールビズを実施する予定です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

★本会議場の傍聴席に、ヒアリンググループシステムを設置しています。また、ヒアリンググループ用受信機を貸し出しています。ご希望の方は、議会事務局にお申し出ください。

令和4年度予算

予算特別委員会

予算審査における主な質疑

- 公民連携・民間提案制度について
- 新型コロナウイルス感染症への対応に関する検証について
- 高校3年生までの医療費無償化について
- コード決済によるポイント還元事業とプレミアム付商品券事業について
- 生活困窮者の支援に関する年末年始の区の対応問題について
- 約1,000本の樹木が伐採・移植される神宮外苑再開発計画の見直しについて
- 子ども未来基金を活用した子ども食堂などへの助成拡充について
- 介護従事者への感染対策強化と人材確保について
- 自治体のガバナンスについて
- 性的少数者に関する施策について

コロナ禍において 区民のいのち・暮らしを 第一に考えた施策と 課題解決を要望

立憲民主党・無所属クラブ

令和4年度予算は「新型コロナウイルス感染症が及ぼす社会経済情勢の動向に柔軟に対応し、感染収束後も視野に入れ、安全で安心な区民生活を支える」ともに第二次実行計画の着実な推進を目指す予算」と位置づけられ、編成されました。

新型コロナウイルス感染症の収束への見通しが立たぬ状況が続く、区民には長期に渡って不自由で制約のある生活が強いられたいです。また、税収が増えたことだけで社会情勢を捉えることなく、困窮者が増えたこと、すなわち格

差が拡大していること自体を問題とし、課題解決を図る予算が求められています。

コロナ禍で各所において様々な対応が求められる難しい環境の中、機動的かつ「新たな日常」の構築へ向けた予算と認め、この予算に賛成しました。

本委員会において、「コロナ禍での中小企業や商店への支援」、「高齢者への3回目接種や子どもへのワクチン接種」、「保育行政における感染症対策」、「高齢者のフレイル予防」、「公立学校の教室不足」などについて、様々な意見を述べ、提案を行いました。今後の区政における課題解決に向けた、一層の取組みを求めます。

今後続くと思われるコロナ禍において何よりも区民の生命・生活を第一に考え、将来を見据えた区政運営を行っていくよう会派一丸となって取り組んで参ります。



木もとひろゆき 副委員長 久保こうすけ 委員長 永原たかやす 副委員長

コロナ禍で激変する情勢に臨機応変に対応し 区民の要望に寄り添う 予算と評価

新宿未来の会

我々会派の基本方針は統治機構の改革、地方主権、既得権と戦う成長戦略、小さな行政機構の実現、受益と負担の公平、現役世代の活性化、機会平等などを柱としています。

新型コロナウイルスに影響を受けた社会も3年目に突入しました。各国政府による低金利、量的緩和政策による経済下支えの元、世界経済は感染症が拡大した当初の落ち込みから大幅に回復しつつあります。

そのような環境の中、令和4年度予算は方針として「新型コロナ

令和4年度 各会計当初予算総括表

会計別	令和4年度	令和3年度	差引額	増減率
一般会計	1,664億2,617万4千円 (1,671億7,257万2千円)	1,576億7,149万6千円 (1,591億4,253万6千円)	87億5,467万8千円 (80億3,003万6千円)	5.6% (5.0%)
国民健康保険特別会計	368億8,255万8千円 (366億3,194万5千円)	353億 879万9千円 (352億 641万9千円)	15億7,375万9千円 (14億2,552万6千円)	4.5% (4.0%)
介護保険特別会計	270億2,777万2千円	261億4,180万9千円 (262億3,784万3千円)	8億8,596万3千円 (7億8,992万9千円)	3.4% (3.0%)
後期高齢者医療特別会計	79億5,792万円	75億 489万9千円	4億5,302万1千円	6.0%
合計	2,382億9,442万4千円 (2,387億9,020万9千円)	2,266億2,700万3千円 (2,280億9,169万7千円)	116億6,742万1千円 (106億9,851万2千円)	5.1% (4.7%)

( )は同時補正後の予算額

選挙で意思表示をしていない将来世代に負担を残さないために 更なる行財政改革を

スタートアップ新宿

一般会計(当初案)は約1,664億円が過去最大になりました。予算案では区民の暮らしに必要な教育や福祉、新型コロナウイルス感染症への対応が示されていたことを評価します。

委員会ではガバナンスの状況、内部統制の状況、ICTの状況等について質疑を行いました。会派の提案にご理解をいただくこともありました。更なる改革の必要性を感じています。特にこれからはEBPM(証拠に基づく政策立案)を推進する必要があります。政策の必要性、有効性を検討し、更なる行財政改革を求めます。

ちいさき声に耳をかたむける新宿へ 民間提案任せではなく 明確なビジョンを

ちいさき声をすくいあげる会

10日間に渡る質疑の中で、問題点を指摘すると改善につながる答弁を頂ける場面も目立ち、その姿勢は評価するところです。が、清風園解体後の障害者施設建設事業を始め、区が明確なビジョンを掲げずに民間事業者の提案に委ねる姿勢や、国の施策によるものとはいえ驚くほどの値上げが続けられる国民健康保険料などの課題もあり、更なる改善への期待を込めて、予算案に反対しました。

今後もちいさき区民の声を、大きな声に変えて議会で響かせて参ります。

特別出張所での 議会録画放映

新宿区議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の模様を生中継でインターネット配信をしています。また、会議終了後おおむね7日後に録画中継をインターネットで配信しています。

さらに、おおむね10日後には各特別出張所で本会議及び予算・決算特別委員会の一部を録画放映しています。

「新宿区議会だより」を ご自宅にお届けします

「新宿区議会だより」は、新聞折り込みでお届けしているほか、主要区の施設、区内の駅・スーパーなどでも配布しています。新聞を購読していない方で希望する方には、「広報新宿」(月3回発行)とともにご自宅のポストに委託業者がお届けします。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

「新宿区議会だより」 点字版・音声版のお知らせ

「新宿区議会だより」は、点字版・音声版(カセットテープ版・CD版・DAISY版)を作成し、ご希望の方にお届けしています。ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。 ※DAISY版の再生には、専用の再生機やソフトウェアが必要です。

新宿区議会事務局 TEL 03-5273-1353 FAX 03-3209-9995

# 委員会の動き

## 令和3年度 新宿区一般会計補正予算などを可決

総務区民委員会

● 今定例会では、議案10件と陳情2件を審査し、3件の報告を受け、質疑を行いました。

● 議案審査では、法改正に伴う「新宿区個人情報保護条例」の一部を改正する条例、「職員の定数を変更する「新宿区職員定数条例」の一部を改正する条例」、不妊治療のための休暇を新設した「新宿区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」や、「令和3年度新宿区一般会計補正予算(第14号)」など補正予算5件を含む議案10件を審査し、全員賛成で可決しました。

● 陳情審査では、1件を継続審査とし、新規に付託された1件は不採択としました。

● 報告案件では、「旧淀橋中学校の貸付けについて」「新宿区立区民健康村の土地の賃貸借契約満了に伴う新たな契約の締結について」など3件の報告を受け、質疑を行いました。

## 新宿区保健事業の利用に係る使用料等を定める条例の一部を改正する条例などを可決

福祉健康委員会

● 今定例会では、議案12件と陳情4件を審査し、7件の報告を受け、質疑を行いました。

● 区長提出議案は、「新宿区保健事業の利用に係る使用料等を定める条例の一部を改正する条例」や、「令和3年度新宿区一般会計補正予算(第14号)」中歳出第5款福祉費、歳出第7款健康費など8件の審査を行い、全て可決しました。

● 議員提出議案は、「新宿区一般会計補正予算(第14号)」中歳出第5款福祉費、歳出第7款健康費など8件の審査を行い、全て可決しました。

## 令和3年度新宿区一般会計補正予算など8件の議案を可決

環境建設委員会

● 今定例会では、議案8件及び陳情8件を審査しました。また、5件の報告を受け、質疑を行いました。

● 議案審査では、「新宿区立住宅管理条例の一部を改正する条例」「新宿区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」などの議案を審査し、全ての議案を可決しました。

● 報告案件では、「新型コロナウイルス感染症への対応」

## 補正予算・新宿区子ども未来基金条例の一部を改正する条例等を可決

文教子ども家庭委員会

● 今定例会では、議案3件と陳情1件を審査し、3件の報告を受け、質疑を行いました。

● 議案審査では、「令和3年度新宿区一般会計補正予算(第14号)」

● 陳情審査では、「新宿区子ども未来基金条例の一部を改正する条例」など3件の審査を行い、全員賛成で可決しました。

● 陳情審査では、「新宿区も管轄になっている東京都子供家庭総合センターの誤認保護防止・職員能力向上

## 災害に際し応急措置の業務等に従事した者の損害補償に関する条例の議案を可決

防災等安全対策特別委員会

● 今定例会では、「災害に際し応急措置の業務等に従事した者の損害補償に関する条例の一部を改正する条

た。「新型コロナウイルス感染症対策本部会議実施状況について」では、路上飲み等の迷惑行為について、質疑がなされました。「新宿区地域防災計画の修正について」では、避難行動要支援者名簿や要配慮者災害用セルフプランの作成やその取扱について確認などが

## 令和3年度内部評価及び外部評価実施結果を踏まえた区の取組について等議論

自治・議会・行財政改革等特別委員会

● 今定例会では、調査事件3件を議題としました。

● 「令和3年度内部評価及び外部評価実施結果を踏まえた区の取組について」説明を受け、質疑を行いました。

● 「文書共有システムに新たに追加する資料について」説明を受け、意見交換を行いました。

● 「令和4年度都区財政調整方針及び令和3年度都区財政再調整方針について」説明を受け、質疑を行いました。

## 令和3年度新宿区一般会計補正予算の議案などを審査

オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

● 今定例会では、議案2件を審査し、4件の報告を受け、質疑を行いました。

● 区長提出議案は、「令和3年度新宿区一般会計補正予算(第14号)」を審査し、全員賛成で可決しました。

● 議員提出議案は、「新宿区中小企業者家賃助成金の支給に関する条例」を審査し、賛成少数で否決となりました。

● 報告案件では、「東京2020大会が終了し、活動報告を受けたことにより、「東京オリンピック・パラリンピックについて」調査が終了したことを委員会が確認し、本会議に委員会調査報告書を提出しました。

## 皆様から託された

# 請願・陳情の審議結果

請願・陳情の内容は、区議会ホームページをご覧ください。詳しくは、議会事務局までご連絡ください。

## 不採択 2件

- アニメ・ゲーム・漫画・女性を活用した地域振興・広告に対する「修正・取り下げ要求」について毅然とした対応・啓発を求める陳情【総務区民委員会】
- 新宿区も管轄になっている東京都子供家庭総合センターの誤認保護防止・職員能力向上に関する陳情【文教子ども家庭委員会】

## 継続審査 1件(新たに提出されたもの)

- シノケンの新宿区余丁町マンション新築工事に関する陳情【環境建設委員会】

## 審議未了 7件

- HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)積極的勧奨再開に関する陳情【福祉健康委員会】
- 新宿区独自で2022年度(令和4年度)国民健康保険料の医療分均等割引き上げ分を負担し、誰もが安心して支払いが出来る国民健康保険料にすることを求める陳情【福祉健康委員会】
- 執行機関と業者の癒着に関する陳情【環境建設委員会】
- 建築主事判断再考に関する陳情【環境建設委員会】
- 建築審査会への審査請求に関する陳情【環境建設委員会】
- 国に対し羽田新飛行ルートは早急に運用停止するよう意見書を提出することを求める陳情【環境建設委員会】
- 羽田空港新ルート運用の一時凍結を求める陳情【環境建設委員会】

## あとがき

編集委員

令和4年第1回定例会で行われた予算特別委員会の記事を中心とした本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

- 桑原 ようへい
- 豊島 あつし
- 永原 たかやす
- 木もと ひろゆき
- 川村 のりあき
- 田中 ゆきえ
- えのき 秀隆